



# オイルクーラーブラケット キット

## 15071-ZN810

取付・取扱要領書

本書には本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項が記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

この商品は、GR86 Cup Car Basic でサーキット走行等の運行時に、オイルクーラーコアの耐久性を向上させるものですが、全ての運行状況に対し耐久性を保証する物ではありません。  
車両の取扱書をよく読み、お客様の責任において、正しい取扱や必要に応じ点検や整備を実施するようお願いいたします。

本商品を取り付けた車両で、一般公道以外の場所（サーキット走行、クローズドされたジムカーナコース等）を走行された場合、全ての保証対象外となることをご承知おきください。

**本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは車両登録後に行ってください。**  
**本商品の取付け作業は、必ず専門の整備工場で行ってください。**  
**本商品の取付け作業は、必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、**  
**本書の注意事項をまもり作業を行ってください。**

### 品番・適合車種

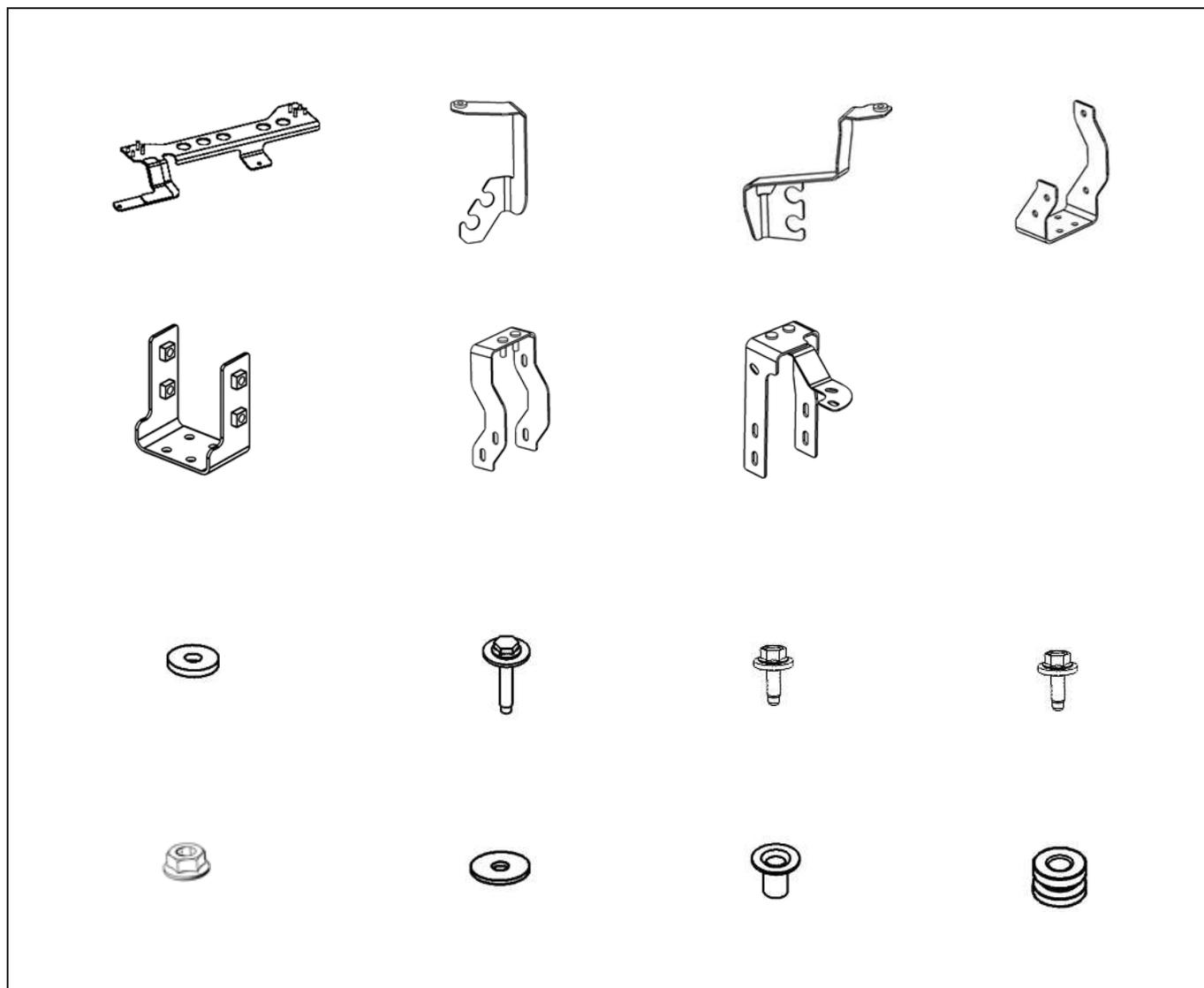
品番	車種	型式	年式
15071-ZN810	GR86 Cup Car Basic	ZN8-VPNT8 * 「*」は A,B,C 等の記号を示す。	22.4 ~

### 構成部品

部品名	品番	数量	備考
オイルクーラーブラケット LWR	15781-ZN810	1	
オイルクーラーブラケット No.1 RH	15781-ZN820	1	
オイルクーラーブラケット No.1 LH	15781-ZN830	1	
オイルクーラーブラケット No.2 RH	15781-ZN840	1	
オイルクーラーブラケット No.2 LH	15781-ZN850	1	
オイルクーラーブラケット No.3 RH	15781-ZN860	1	
オイルクーラーブラケット No.3 LH	15781-ZN870	1	
ラバースパースー	88668-ZN800	16	再利用不可
ボルト	90119-06953	4	トヨタ純正部品
ボルト	90119-06983	1	トヨタ純正部品 15781-ZN820 のリーンフォース側 締結用
ボルト	91671-A0616	4	L=16mm トヨタ純正部品
ナット	94151-80641	12	フランジナット トヨタ純正部品
ワッシャー	90201-06566	12	トヨタ純正部品
プッシュ	90389-SP000	4	
グロメット	90480-SP001	4	再利用不可
取付・取扱要領書(本紙)		1	本書は大切に保存してください。

確認：商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

### 構成部品図



## 取付け上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



**警告**

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



**注意**

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



**アドバイス**

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと



**警告**

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換に伴う付帯作業（バンパー脱着等）は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規程トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。
- ❗ 本商品には十分な強度・耐久性を持たせていますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付け作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
- ❗ 急発進、急制動、急旋回などの無理な走行、乱暴な運転は本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因になるばかりでなく、重大事故の発生をも誘発することになるので、絶対におやめください。
- ❗ 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路での走行は十分な安全スピードで走行するようお願いいたします。



**注意**

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため、取付け部位を保護材で養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 取付け作業時は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドやケガをするおそれがあります。
- ❗ 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後、行ってください。車両が予期せずに動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
- ❗ 交換の際、締め付け作業等でインパクトレンチを使用すると破損や事故の原因となります。車両修理書に従った規程トルクで締め付けを行ってください。
- ❗ 車両に付いているボルト・ナット等を再使用する部分については、ボルト・ナット等が錆びたり劣化している場合は、必ず新品に交換してください。
- ❗ 本商品の周囲で溶接作業は行わないでください。溶接スパッタ等の付着で破損の原因となる場合があります。
- ❗ 本商品を工具で掴んだり落下させるような乱暴な扱いはしないでください。傷により破損や事故の原因となる場合があります。
- ❗ 取付け作業や走行にともない、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームは応じかねます。本書の装着手順を必ずお守りください。



- ❗ 取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している状態で走行すると破損や故障の原因となります。
- ❗ 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取付け部分や本体に変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
- ❗ 本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

### 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

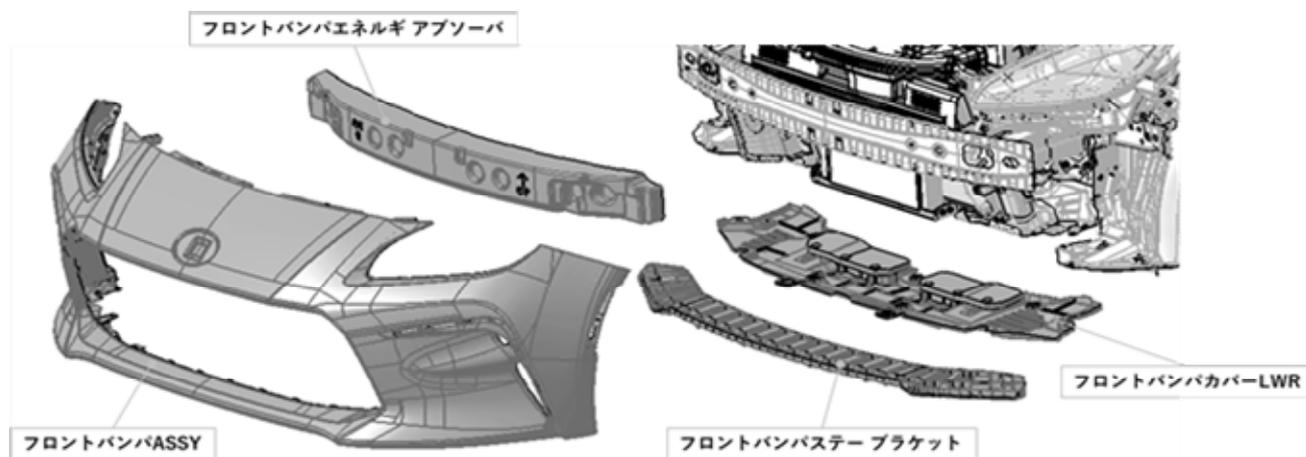
## 取付要領

### 車両部品 取り外し

車両修理書に従い下記部品を取り外す。

(クリップ、ボルト、スペーサーはすべて再利用します。)

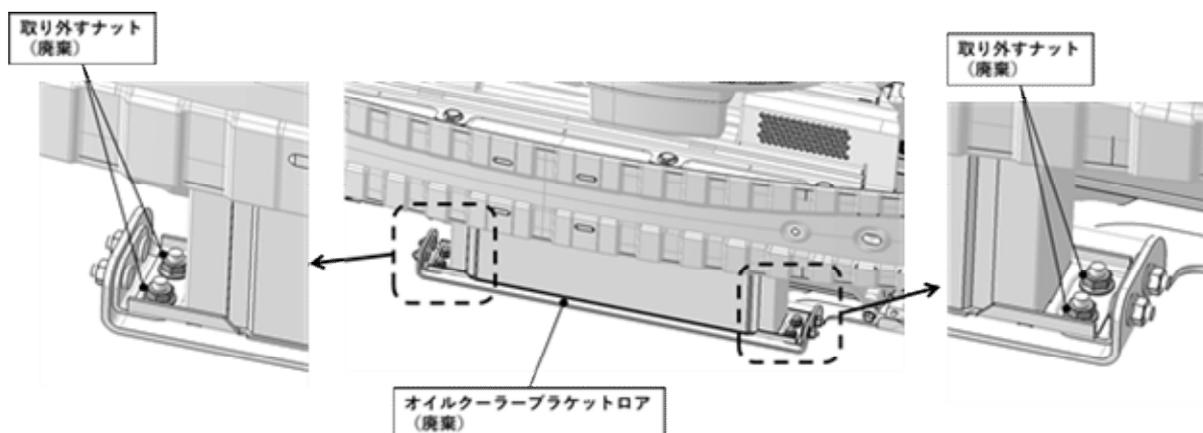
- ・フロントバンパASSY
- ・フロントバンパエネルギーアブソーバ
- ・フロントバンパカバー-LWR
- ・フロントバンパステー ブラケット



### オイルクーラーブラケットロアの取り外し

図示のナット4個を取り外し、オイルクーラーブラケットロアをオイルクーラーから取り外す。

(取り外したブラケット・ナットは再使用しません。廃棄してください)



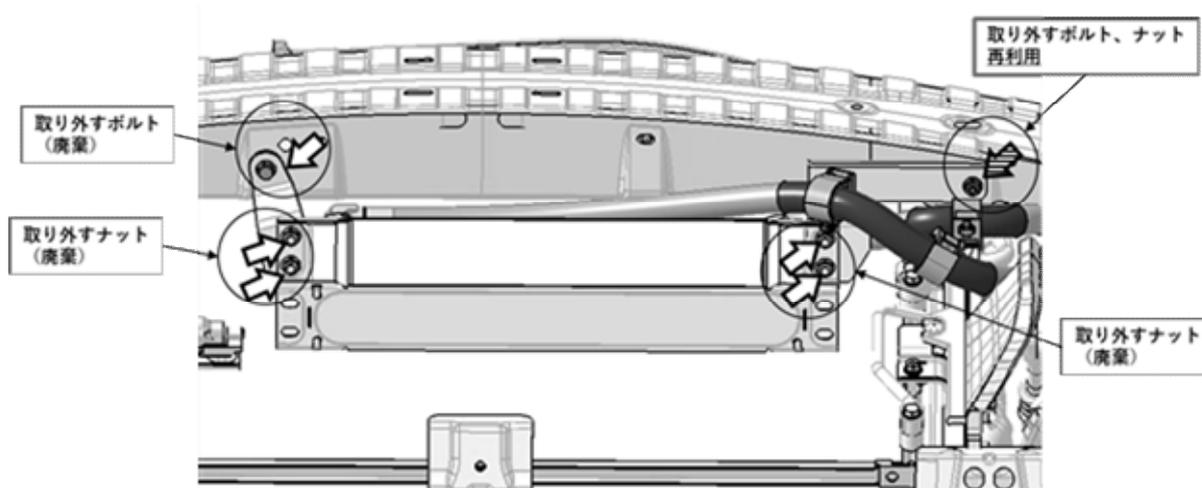
## オイルクーラーブラケット アッパーRH/LHの取り外し

注：以降の作業を行う際は、オイルクーラーを落下、損傷させない様に作業してください。  
 オイルホースを引っ張ったりして、無理な力をかけない様に作業してください。

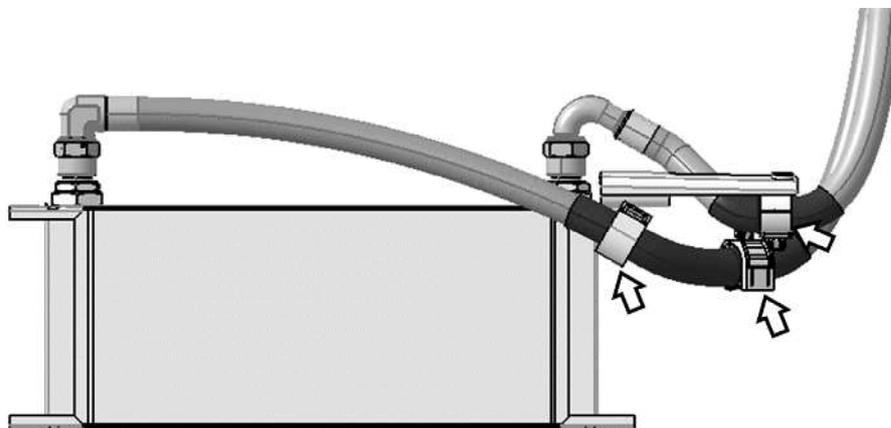
- ・リンフォースとブラケットRH/LHを固定しているボルト（2個）とナット（1個）を取り外す。

（LH側のボルトとナットは再利用するため保管してください。（部）  
 RH側は再利用しません。）

- ・ブラケットLH/RHとオイルクーラーを固定しているナット（合計4個）を取り外す  
 （再利用しません）

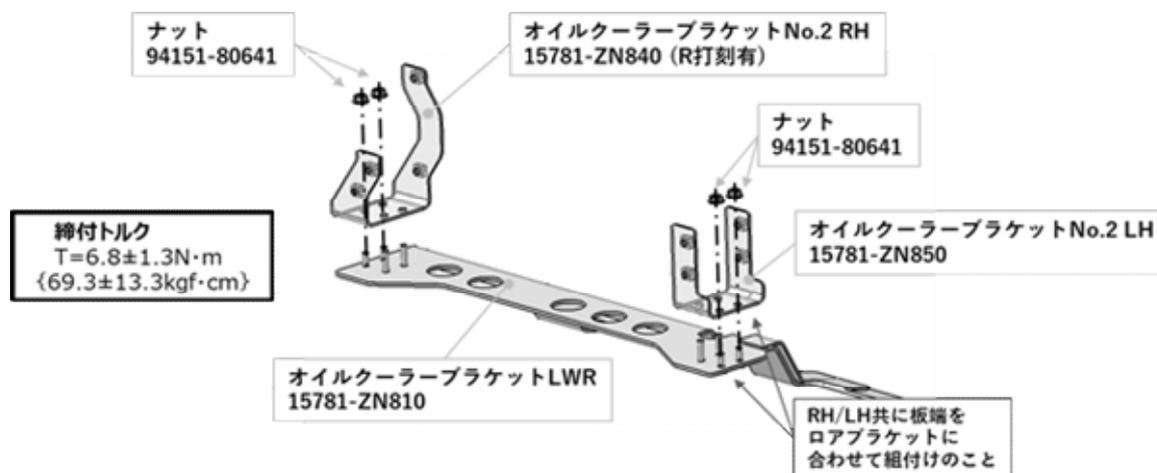


- ・LH側のブラケットから図示のホースクランプ（合計3個）を取り外す  
 注意：オイルホースからクランプは取り外さないこと。



## 前準備

- ・オイルクーラーブラケットLWR ( ) と  
オイルクーラーブラケットNo.2 RH/LH ( / ) を、  
ナット ( ) を使用して指定トルクで締結する。



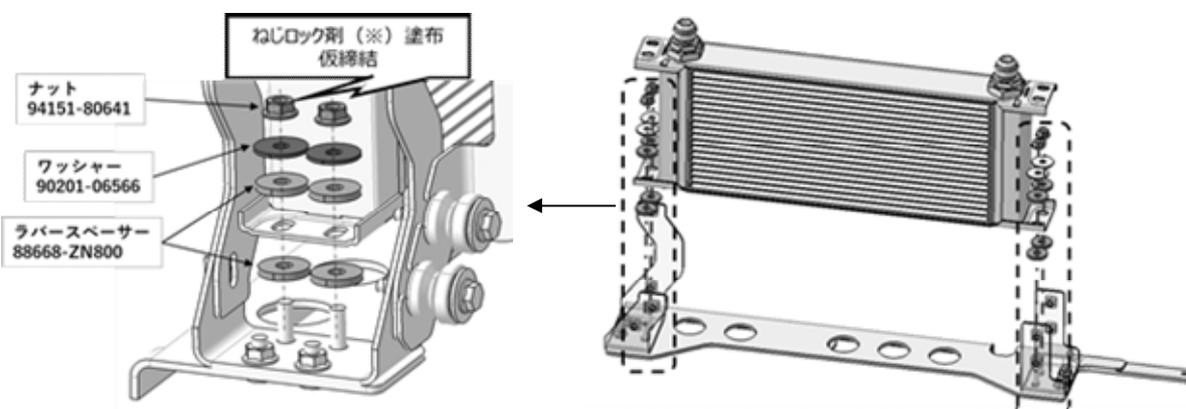
## オイルクーラブラケットLWRの仮組

図の様に、オイルクーラーの下側締結部をラバースパース ( ) で上下に挟み、ワッシャー ( ) とナット ( ) を組み付け、オイルクーラーブラケットLWRに仮締結をする。

ナットのネジ部にはねじロック剤 ( ) を塗布する。

ナットを指定トルクで締め付ける作業までを10分以内で行うこと。

スリーボンド嫌気性強力封着材1324N、または、Loctite243



(図はRH側を示す。LH側も同様。)

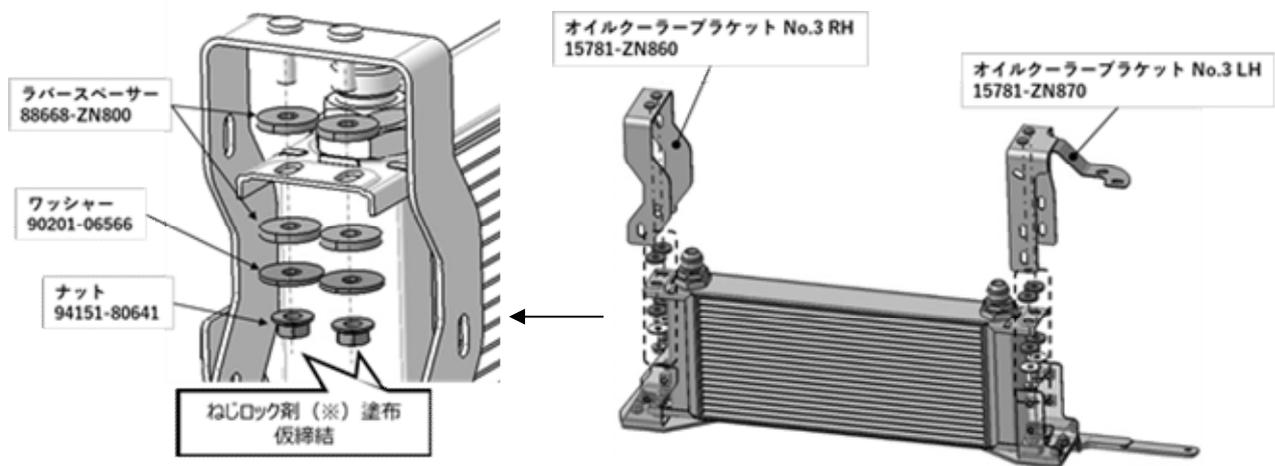
## オイルクーラーブラケットNo.3 (RH/LH) の仮組付

- ・オイルクーラーブラケット No.3 RH/LH ( / ) を、オイルクーラー上側締結部にラバースペースャー ( ) を上下に挟み、ワッシャー ( ) とナット ( ) を組付けて仮締結をする。

ナットのネジ部にはねじロック剤 ( ) を塗布する。

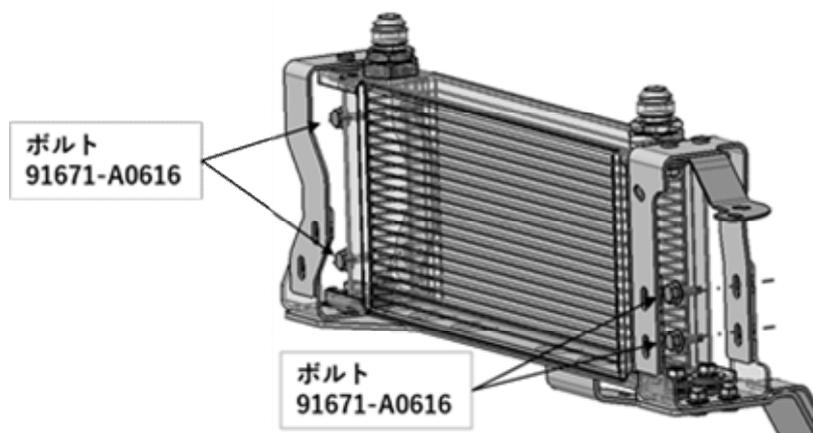
ナットを指定トルクで締め付ける作業までを10分以内で行うこと。

スリーボンド嫌気性強力封着材1324N、または、Loctite243



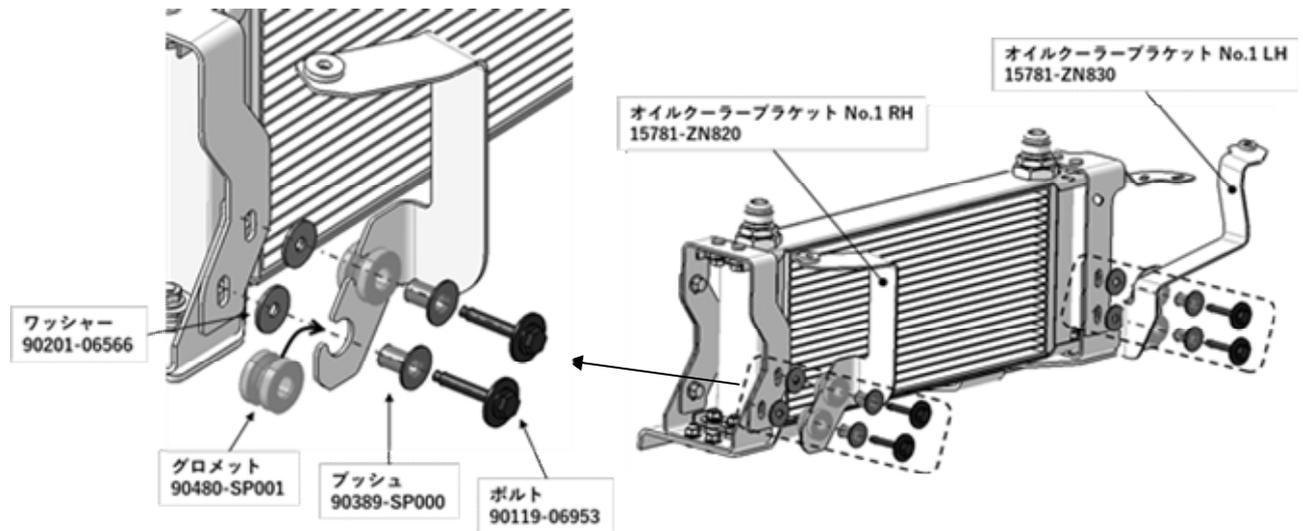
( 図はRH側を示す。LH側も同様。 )

- ・オイルクーラーブラケット と 、 と をボルト ( ) で仮締結をする。



## オイルクーラブラケットNo.1 (RH/LH) の仮組付

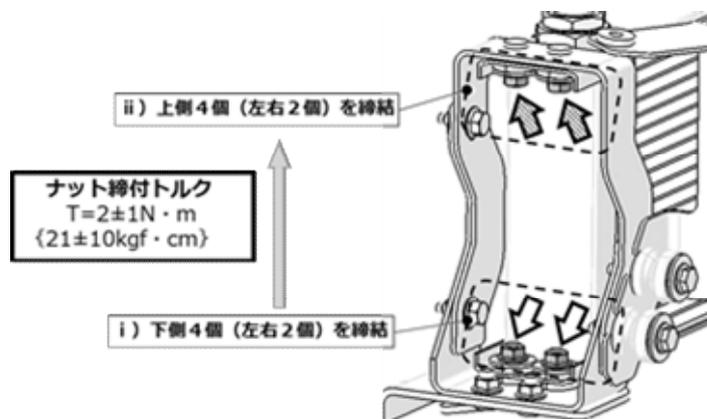
- ・ 図の様に、オイルクーラブラケットNo.1RH/LH ( / ) に  
グロメット ( ) を挿入し、ブッシュ ( ) を挿入する。  
ワッシャー ( ) を挟んでボルト ( ) でオイルクーラブラケットNo.3 RH/LH  
( / ) に仮締結する。



( 図はRH側を示す。LH側も同様。 )

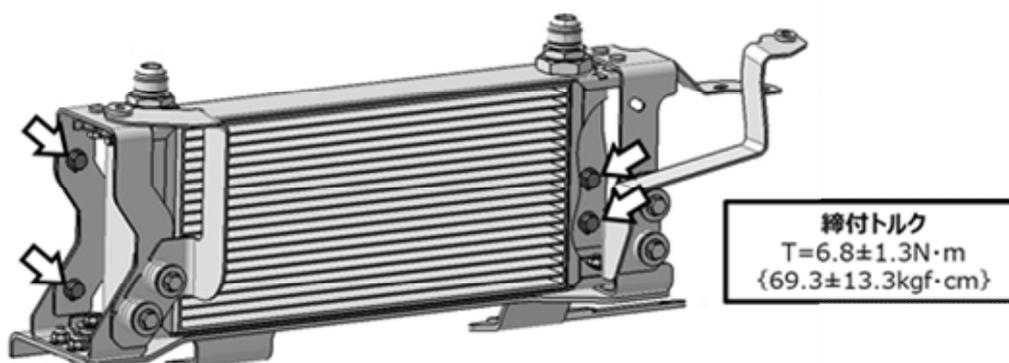
## オイルクーラーブラケットの本締結

- ・ オイルクーラー締結部のナットを、下側 上側の順で規定トルクで締め付ける。  
注：ラバースパースーが過剰変形するため、規定トルクでの締付は1回のみで実施のこと。

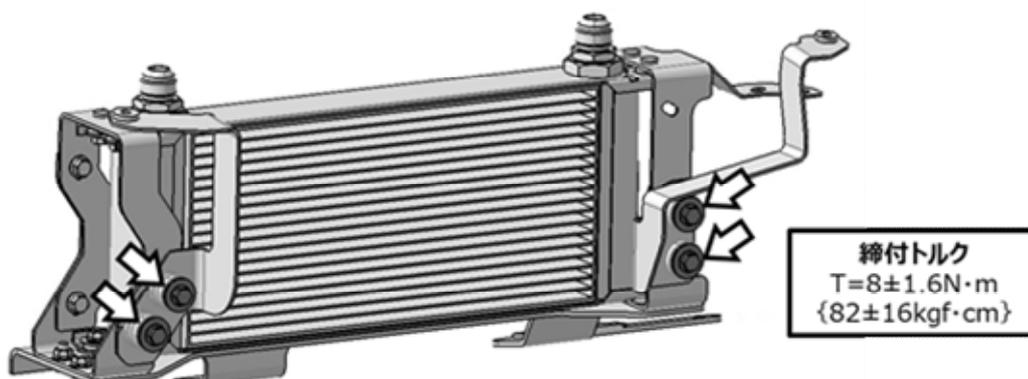


(図はRH側を示す。LH側も同様。)

- ・ 図のボルト4本 ( 、リヤ側、左右各2個) を、規定トルクで締結する。



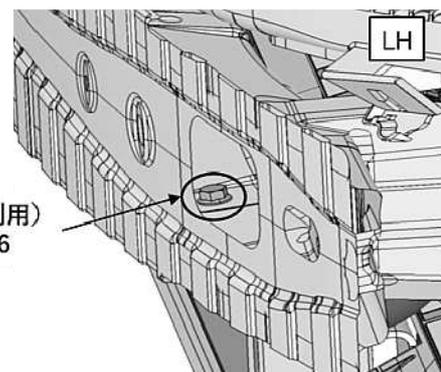
- ・ 図のボルト4本 ( 、フロント側、左右各2個) を、規定トルクで締結する。



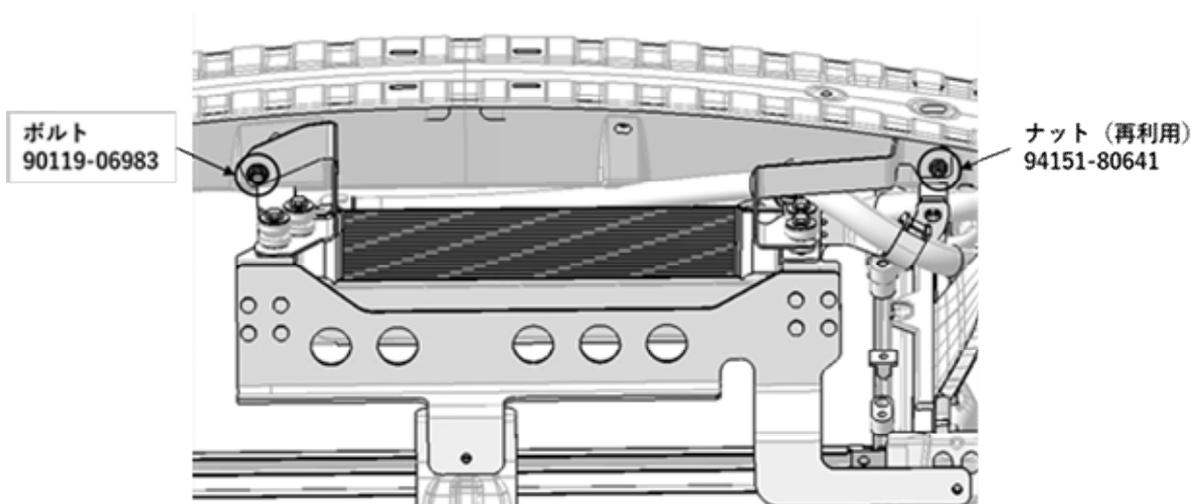
### 車両への仮締結（リンフォース側）

- ・ 図の通り、リンフォースのLH側のボルト穴にボルトを通す。  
（ボルトは再利用）

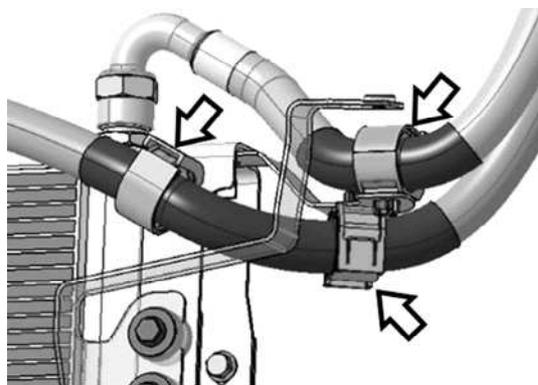
ボルト（再利用）  
91671-A0616



- ・ オイルクーラーブラケットのRH側とリンフォースをボルト（ ）で仮締結し、LH側はナットを再利用して仮締結をする。

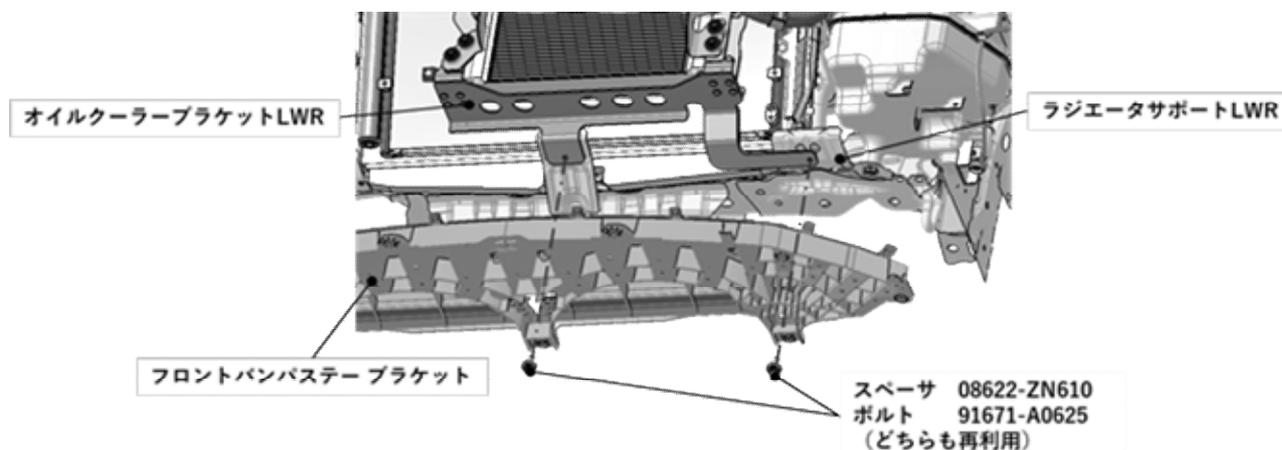


- ・ 図の通り、オイルクーラーブラケットNO.3 LH（ ）に、オイルホースに装着されているクランプを3箇所取り付ける。

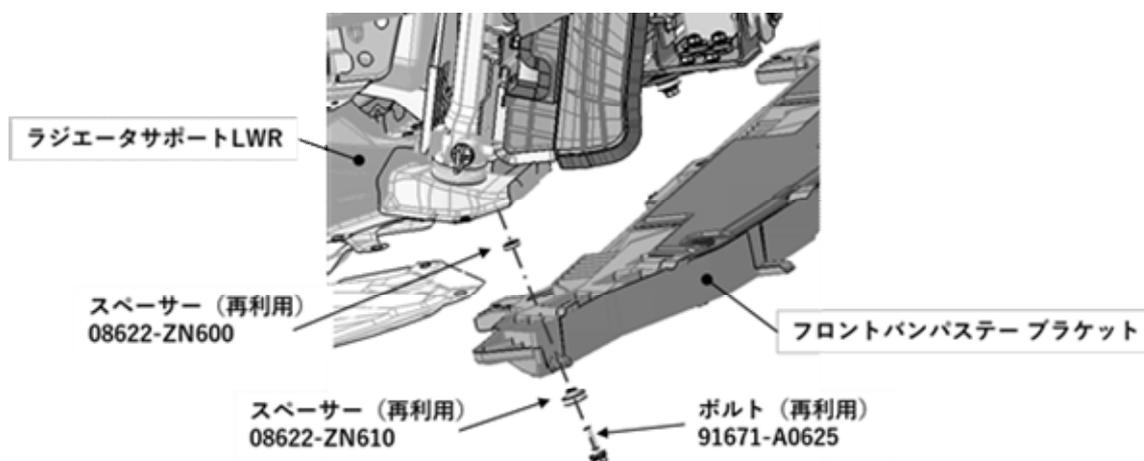


## 車両への仮締結（ラジエータサポートLWR側）

- ・ 図の通り、ラジエータサポートLWRに、フロントバンパステー ブラケットと  
オイルクーラーブラケットLWR（ ）をスペーサ、ボルト各2個で仮締結する。  
（スペーサーとボルトは再利用）



- ・ 図の通り、ラジエータサポートLWRに、  
スペーサー（08622-ZN600） フロントバンパステー ブラケット  
スペーサー（08622-ZN610）の順で挟み込みボルトで仮締結する。

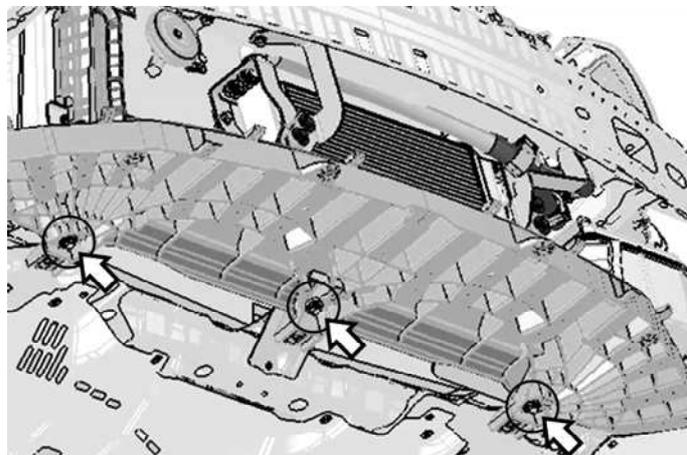


### 【参考】

構造上、フロントバンパステーブラケットは、組付後も遊び（ガタつき）があります。

## 車両への本締結

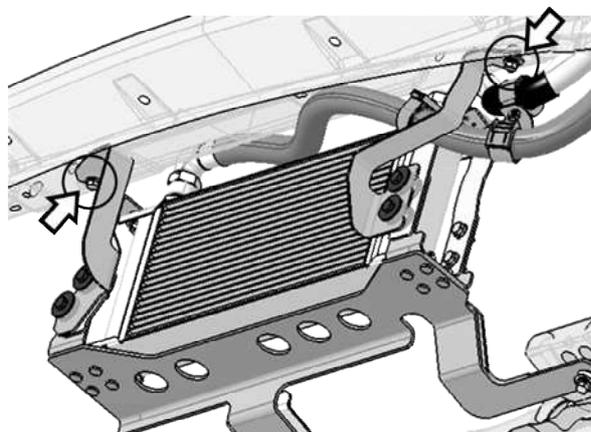
- ・仮締結をしたラジサポLWR×フロントバンパステー ブラケットのボルト 3個を規定トルクで締結をする。



締付トルク  
 $T=7.5\pm 1.5\text{N}\cdot\text{m}$   
 $\{76\pm 15.3\text{kgf}\cdot\text{cm}\}$

- ・仮締結をしたリンフォース×オイルクーラーブラケットNo.1 RH/LH ( / ) のボルト、ナット各 1 個を規定トルクで締結をする。

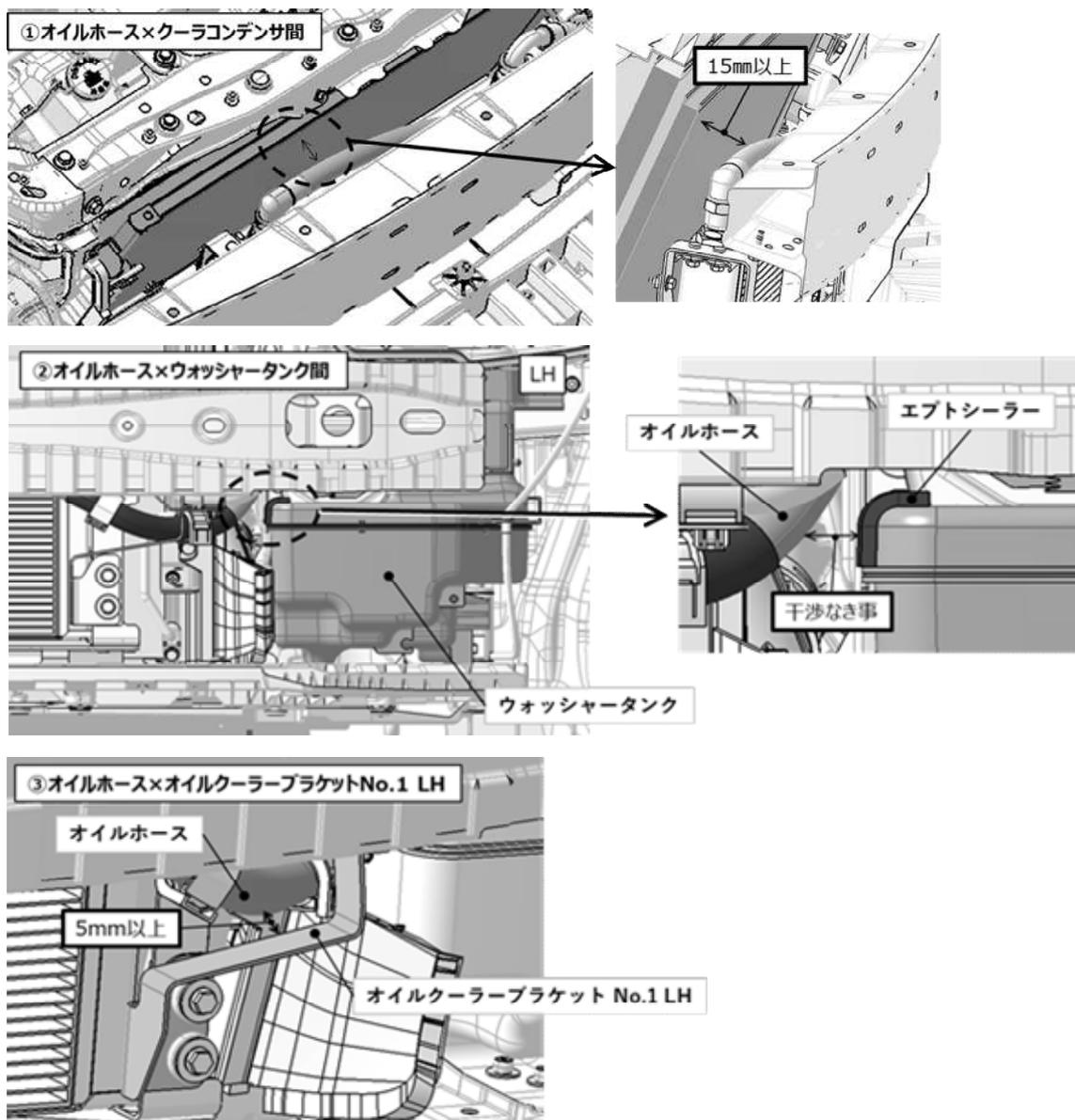
締付トルク  
 $T=10\pm 2\text{N}\cdot\text{m}$   
 $\{102\pm 20\text{kgf}\cdot\text{cm}\}$



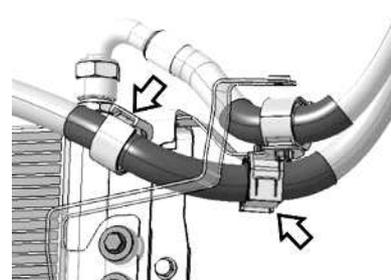
締付トルク  
 $T=10\pm 2\text{N}\cdot\text{m}$   
 $\{102\pm 20\text{kgf}\cdot\text{cm}\}$

## 車両復元前の点検（クリアランス確認）

図の ~ のクリアランスが確保できていることを確認する。



上記クリアランスが確保できていない場合  
 図のクリップ2個を外してクリアランスを調整する。  
 調整後は、コルゲートにクリップ端確認用のペイント  
 マーキングを行う。



## 車両復元

車両修理書に従い、取り外した車両部品を復元する。

## 走行確認

全ての作業終了後、5 km程度の通常走行を実施して、異音等の無いことを確認してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD パーツ商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>